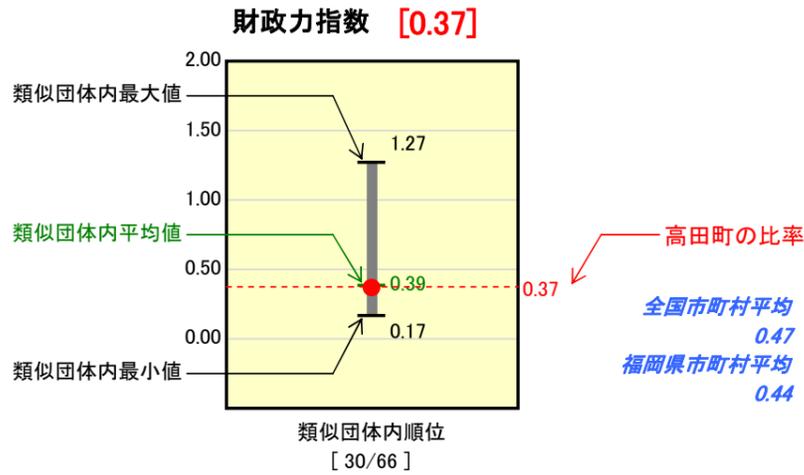


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

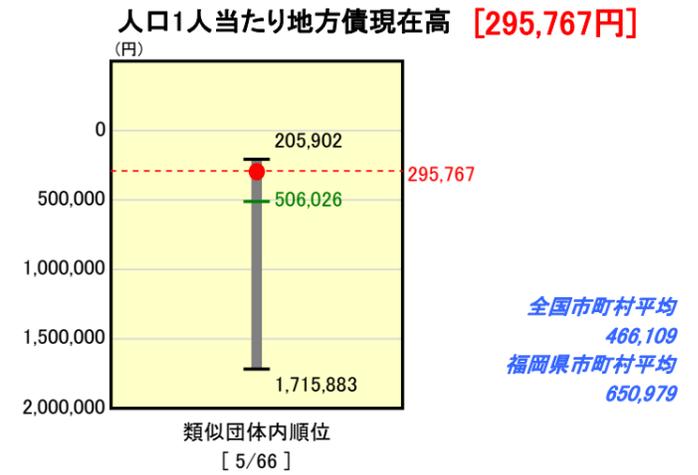
福岡県 高田町

人口	14,708 人(H17.3.31現在)
面積	41.01 km ²
歳入総額	5,889,103 千円
歳出総額	5,565,649 千円
実質収支	309,054 千円

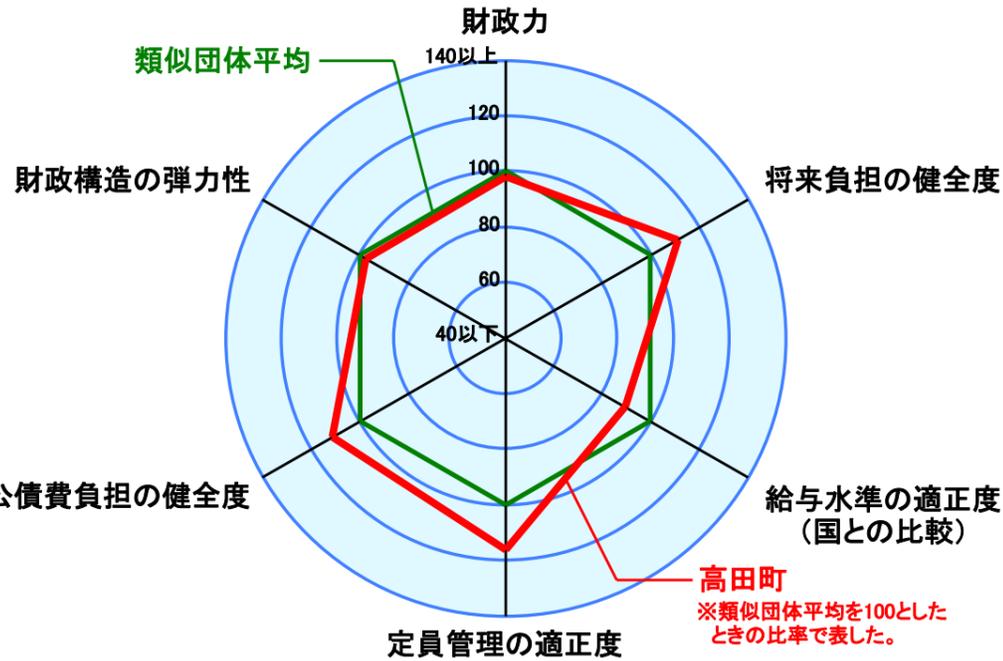
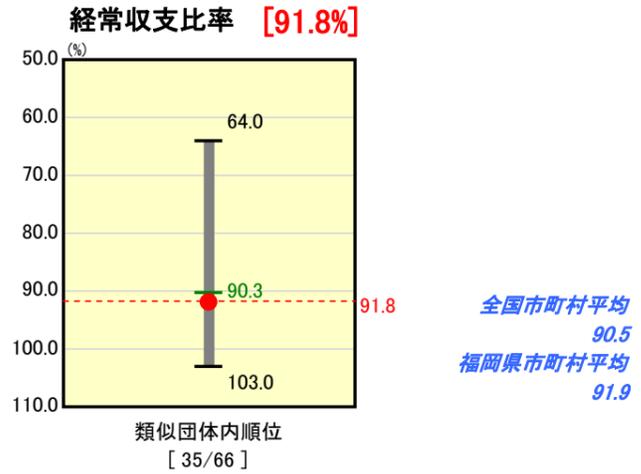
財政力



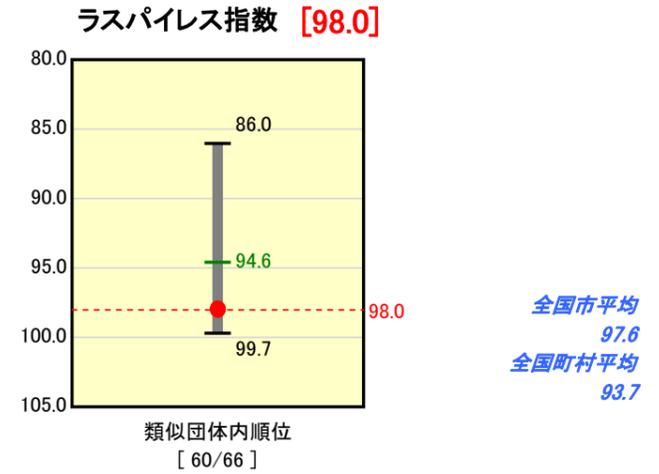
将来負担の健全度



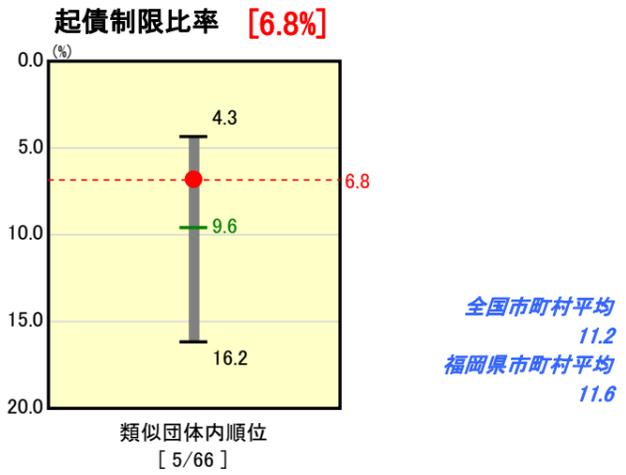
財政構造の弾力性



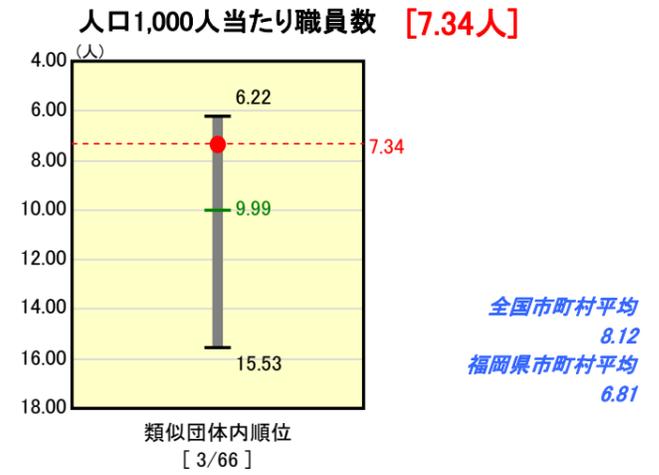
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

○財政力指数
ここ3年間で連続した伸びを見せているものの、いまだ0.37と類似団体の平均以下であり今後人口の減少や高齢化(16年度末28%)に対する経費の増が見込まれる。退職者不補充等による人件費の抑制(3年間で5.7%減)を図っているが、今後も不要不急な事業を見直し、一層の経費節減を行っていく。

○経常収支比率
地方税、普通交付税等経常一般財源総額の落込み(3年間で12.4%減)に加え制度改正による扶助費や介護保険への繰出増により91.8%と悪化(3年間で7.9%)した。今後とも新規採用の抑制を継続するとともに特別職等の給与等の削減(助役による収入役の兼務、町長15%・助役10%・教育長5%・議員10%給与カット)等行財政改革への取組みを通じて義務的経費の削減に努め現在の水準を維持する。

○起債制限比率
過去からの起債抑制策により類似団体平均を下回っているが、今後ともこの水準を抑えていく。

○人口1人当たり地方債現在高
過疎地域自立促進計画の推進により平成21年までの新規の過疎債発行額(約15億円)が見込まれる。そのため他の地方債の発行については十分に精査をし、類似団体平均を上回ることを無きよう努める。

○ラスパイレス指数
3年連続して下がったものの(3ポイント)いまだ類似団体を3.4ポイント上回り、県の市町村平均をも1.3ポイント上回っている。また、全国的にも高い水準にあるため、地域の民間企業の平均給与の状況を踏まえ、給与の適正化に努めることにより、今後3年間で類似団体平均の水準まで低下させる。

○人口1,000人当たり職員数
過去からの新規採用抑制策により類似団体平均を下回っているが今後も退職者の不補充を継続し職員削減に努める。